

心ふれあい SA 吹田通信

25 周年記念増刊号



ご挨拶

心ふれあい SA 吹田 会長 笹原 義正

SA 吹田は 26 年 4 月 25 日に 25 周年記念式典を開催し会員皆様と共に喜びを分かち合うことができました。その折り記念誌については 20 周年の発行から 5 年と短いため 30 周年の時に発行とし、今回は過去 5 年間の主な出来事を抜粋して発行することにしました。平成 21 年からの 5 年間の SA 吹田に関わる一番大きな環境の変化は、平成 21 年に吹田山田にあり無料だった大阪府シルバーアドバイザー養成講座が廃止となり、場所も大阪市内に移り有料となり NPO 法人大阪府高齢者大学校へと代わったことです。同校への吹田 SA 受講生は激減し、その全卒業生が本会へ入会して下さいましたが 5 年間で会員総数が 30 名も減りました。更に吹田市の減免制度廃止による施設利用料が全額負担となり私たちの活動資金を直撃し、苦しい運営となりました。そんな厳しい環境ですが、新しい取り組みが着々と具体化しております。その詳細は次ページに写真と共に記載しております。その原動力は何よりも会員



の皆様の熱意であり「SA 吹田を何とか盛り上げよう」と知恵と行動力で具体化して下さいました。やはりどんな組織も環境に対応しなければ生き残れませんし、その逆境を乗り越えてこそ新たな発

展があります。

SA 吹田は過去何度も厳しい状況に追い込まれたことがありますがいずれの場合もその逆境を乗り越えて来ました。

私たちも諸先輩の方々を見習い、吹田市に「SA 吹田」ありと云われるような素晴らしいボランティア団体を共に育てて参りましょう。

SA 吹田会員は 174 名もの仲間がいるのです。共に手を取り合って地域貢献と一緒に取りくみましょう。社会に貢献できることは生きる元気が湧いてくる「生きがい」にも通じます。

超高齢化社会と云われる今日、私たちが率先して・謙虚に・明るく・元気な毎日を送りましょう。

25 周年総会でのスナップ写真それぞれ一場面



2009 年～2013 年（平成 21 年～25 年）のあゆみ

2009 年（平成 21 年） 会員数 153 名

- 4 月 総会 開催
 - ・福祉部会 創設
 - ・福祉ボランティア派遣事業開始(22 年度に終了)
- 4 月 NPO 法人大阪府高齢者大学校 開校
- 7 月 SA 吹田通信 二色刷り開始(73 号)

2010 年（平成 22 年） 会員数 145 名

- 4 月 総会 開催
 - ・「SA 吹田」・「心ふれあいネット」を統合「心ふれあい SA 吹田」と改称
 - ・一般市民の入会受入れ開始
- 4 月 創立 20 周年記念式典 開催（20 周年記念誌発行）
- 4 月 第 1 回「アクティブシニア歌体操フェスタ 2010」 開催
- 4 月 NPO 法人大阪府高齢者大学校 1 期生 入会
- 23 年 3 月 吹田市ボランティア連絡会に入会

2011 年（平成 23 年） 会員数 146 名

- 4 月 総会 開催
 - ・東北震災義援金の募金箱設置 義援金 53,276 円贈呈
- 5 月 吹田市立博物館に、おもちゃ部会が初参加
- 5 月 「吹田ボランティアフェスティバル」に初参加
 - ・大阪府 SA 連協・第 1 回「北ブロックおもちゃ交流会」と併催
- 6 月 ブログ 開始
- 8 月 第 1 回「夏休み・おもちゃカーニバル」 開催
- 10 月 SA 通信 100 号発行達成
- 10 月 第 1 回「大阪マラソン」給水ボランティアに参加
- 12 月 第 1 回社会見学会「朝日新聞大阪本社」実施

2012 年（平成 24 年） 会員数 141 名

- 4 月 総会 開催
- 4 月 NPO 法人大阪府北部コミュニティカレッジ(ONCC)が開校
- 6 月 内本町コミセン祭りに初参加
- 25 年 3 月 東日本大震災復興支援チャリティーに参加
- 25 年 3 月 第 1 回観梅会を実施(万博公園)

2013 年（平成 25 年） 会員数 126 名

- 4 月 総会 開催
 - ・三役会が発足.
- 4 月 イオン・イエローシート・キャンペーン取組開始(イオン南千里店)
- 6 月 歌体操ボランティア養成講座を開始
- 9 月 吹田市「みんなの健康展」に、おもちゃ部会が初参加
- 26 年 3 月 ラコルタでの「かえっこバザール」に、おもちゃ部会が初参加

SA吹田2009年から2013年のイベントをピックアップ

22.3.18 アクティブシニア歌体操フェスタ2010



22.4.22 20周年記念総会行事

23.8.13 第一回夏休み・おもちゃカーニバル



小学校での車椅子体験授業(福祉授業)

小学校での国際交流授業



23.12.7朝日新聞本社見学参加者

SA吹田役員推移(平成21年～25年)

役職名	2009年 平成21年	2010年 平成22年	2011年 平成23年	2012年 平成24年	2013年 平成25年
会 長	小川 忠夫	小川 忠夫	金馬 弘昌	金馬 弘昌	笹原 義正
副会長	松川 裕	金馬 弘昌	沖村 史生	沖村 史生	沖村 史生
	村松 章良	沖村 史生	藤川 安高	藤川 安高	藤川 安高
	金馬 弘昌	藤川 安高	田原 美佐穂	田原 美佐穂	田原 美佐穂
		田原 美佐穂	村上 正	笹原 義正	須崎 俊英
		村上 正	笹原 義正		
総務部 部長	田原 美佐穂	金馬 弘昌	須崎 俊英	須崎 俊英	吉川 誠
副部長	土岐 剛三	笹原 義正	中西 佐和子	中西 佐和子	中西 佐和子
	藤本 美貴子	須崎 俊英	吉川 誠	吉川 誠	松森 一夫
		中西 佐和子	松森 一夫	松森 一夫	前田 恭厚
会 計	内田 格子				
広報部 部長	金馬 弘昌	田原 美佐穂	田原 美佐穂	田原 美佐穂	田原 美佐穂
副部長	藤川 安高				
	熊田 真也				
	森 孝二	川端 敏郎	川端 敏郎	川端 敏郎	川端 敏郎
	村松 章良	笹原 義正	俣野 正雄	松森 一夫	須崎 俊英
					小川 忠夫
情報活動部 部長		土岐 剛三	村上 正		
副部長		加藤 昌子	加藤 昌子		
おもちゃ部会 部会長	八木 秀雄	八木 秀雄	笹原 義正	笹原 義正	丹羽 史朗
副部会長	久賀 俊秀	熊田 真也	平野 喜美	平野 喜美	平野 喜美
	熊田 真也	平野 喜美	安田 勝廣	安田 勝廣	安田 勝廣
					松森 一夫
歌体操部会 部会長	藤川 安高	加藤 昌子	加藤 昌子	西村 秀子	加藤 昌子
副部会長	加藤 昌子	西村 秀子	西村 秀子	中西 佐和子	西村 秀子
	井口 とみ子	梅林 泰子			中西 佐和子
国際交流部会 部会長	田尻 駿一郎	田尻 駿一郎	田尻 駿一郎	田尻 駿一郎	田原 美佐穂
副部会長	一井 謙三	黒川 怜子	田原 美佐穂	田原 美佐穂	金馬 弘昌
福祉部会 部会長	三好 桂子	三好 桂子	三好 桂子	見並 泰男	金馬 弘昌
副部会長	阿部 まり	見並 泰男	見並 泰男	三好 桂子	沖村 史生
		梅林 泰子	内田 格子		井上 茂
ブロック部会 部会長		沖村 史生	沖村 史生	沖村 史生	沖村 史生
第1ブロック長	村上 正	吉川 誠	吉川 誠	吉川 誠	黒川 怜子
第2ブロック長	熊田 真也	竹田 マユミ	竹田 マユミ	熊田 真也	松森 一夫
第3ブロック長	沖村 史生	井上 茂	井上 茂	井上 茂	井上 茂
第4ブロック長	見並 泰男	林田 弘子	林田 弘子	林田 弘子	林田 弘子
会計監査	奥谷 英夫	松川 裕	八木 秀雄	八木 秀雄	八木 秀雄
	佐藤 宏一	村松 章良	村松 章良	村上 正	村上 正
顧問	丹羽 史朗	丹羽 史朗	丹羽 史朗	丹羽 史朗	
			小川 忠夫	小川 忠夫	

編集後記

SA 吹田 25 周年記念増刊号発行に際し、過去の SA 通信から抽出し 5 年間の出来事を 4 ページに集約しました。何かと不十分なところもありますが発行する運びとなりました。

発行編集 : 笹原・田原・藤川・沖村・吉川・中西・松森・前田・内田